



“コスト・電力・スペース”の限界を超える

ーサイフィックス、最新光技術を COMNEXT で公開ー

[茨城県つくば市] ー株式会社サイフィックスは、2025 年 7 月 30 日（水）から 8 月 1 日（金）まで東京ビッグサイトで開催される「COMNEXT 2025（次世代コミュニケーション技術 & ソリューション展）」に出展し、拡大を続けるデジタルインフラの需要に応えるべく、「コスト」「電力」「スペース」の課題を解決する 3 つの新技术を公開します。データセンターや AI クラスタの将来を支える革新的なソリューションとして注目を集めています。

■ 高性能と低コストを両立する光配線ソリューション

「DR シリーズ」は、データセンターや AI クラスタの配線構成を最適化しつつ、コストパフォーマンスに優れた光トランシーバソリューションです。

100G から 400G へのブレイクアウト接続による柔軟な移行が可能なほか、次世代 200G/レーンに対応した 800G DR4 では、AI クラスタの処理性能を一段と高める大容量通信を実現します。

■ 消費電力と冷却負荷を抑える低消費電力技術

「LPO シリーズ」は、LPO-MSA に準拠した低消費電力型の光トランシーバで、従来製品から DSP（デジタル信号処理チップ）を排除することで、消費電力を大幅に削減。

電気代だけでなく冷却にかかる運用コストの低減にも貢献し、データセンター全体の省電力化とコスト最適化を支える戦略的なソリューションです。

■ 設置スペースの効率化を実現する多芯ファイバ技術

「MCF トランシーバ」は、4 コアファイバの採用により、光ファイバの総数・体積を従来の 1/4 に削減。大規模な AI クラスタ接続において課題となるケーブル管理の煩雑さを解消し、設置スペースの有効活用を可能にします。さらに、実用化を阻んでいた MCF-SMF 変換機能をモジュールに内蔵することで、MCF ファイバとの直接接続が可能となり、よりシンプルで効率的な運用を実現します。



COMNEXT2025では、サイフィックス（ブース番号：C2-12）及びキーサイト・テクノロジー様（ブース番号：C6-29）にて、最新技術のライブデモンストレーションを実施いたします。あわせて、同期間中に島根県松江市・くにびきメッセで開催される JANOG 56 展示会（ブース番号：95）にも出展しております。いずれの会場でも、当社の先進的な光通信ソリューションをご紹介しますので、ぜひお立ち寄りください。

【展示会概要】

- 名称：COMNEXT（次世代コミュニケーション技術&ソリューション展）
- 会期：2025 年 7 月 30 日（水）～8 月 1 日（金）
- 会場：東京ビッグサイト
- 出展ブース：サイフィックス（C2-12）、キーサイト・テクノロジー（C6-29）

株式会社サイフィックスは、高速・省エネルギー・低遅延の光通信技術を開発・提供するグローバル企業です。世界中のデータセンターや AI・機械学習のインフラを支える次世代通信ソリューションを展開しています。

〈お問い合わせ先〉

株式会社サイフィックス

茨城県つくば市筑穂 1-14-2

<https://siphx.com>

info@siphx.com